

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	街路樹整備事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	みどりの課			
施策	1-1	生態系に配慮した公園・緑地・水辺等空間の整備・管理		主管課長	小島 敏明			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	街路樹	意図	街路樹を維持管理することで快適な空間を創出する。
事業内容	街路樹の補植等を行う。市街地の緑である街路樹を確保する。			
事業開始から現在までの状況変化	樹木の成長に伴う適切な剪定整姿が必要となっている。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		街路樹補植本数(高木)	12	3	21	本	
	街路樹補植本数(低木)	0	500	1,449	本	↑↑↑	
	街路樹大高木剪定数	41	12	131	本	↑↑↑	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						今後も、街路樹の成長に伴い、剪定本数が増加する傾向にある。
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,297,400	3,332,500	8,148,040			
事業費(b)(円)		1,544,400	2,646,000	7,476,840			
うち一般財源		1,544,400	2,646,000	7,476,840			
職員給与費(c)(円)		753,000	686,500	671,200			
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H29)の改善計画	予算内で優先順位を付け、補植や剪定を行う。	取組の課題	区画整理事業の進捗に伴い街路樹が増えているため、計画的な剪定が求められる。
今年度(H29)に実施した取組	中駒木幹線のケヤキを剪定した。また補植に関しては、低木を中心に市内各所にて行った。	今後(H30以降)の改善計画	優先順位を付け、効果的な剪定及び補植を行う。